

# リフトリーダー養成研修

福祉の現場においては、介護職員の身体的負担が大きく、腰痛の発生原因にもなっている。また、危険や苦痛を伴う人力のみの介護は利用者の自立支援の妨げにもなりかねない。利用者との介護者の体を守るためにもリフト等の福祉用具の導入や活用を図り、福祉の現場で指導的役割を担う人材の育成を行う。

## 本研修の目的

- ①腰痛予防に関する知識や対策を学び、介護作業のアセスメントができる。
- ②リフトに関する知識や技術を学び、適切に使用できる。
- ③リフトの適切な使用ができ、かつスタッフへの指導ができる。

- **主催** 公益財団法人テクノエイド協会
- **実施** (社福) 兵庫県社会福祉事業団 福祉のまちづくり研究所
- **日時** 1日目: 令和8年10月2日(金) 9:10~16:20 (受付 8:30~9:00)  
2日目: 令和8年10月3日(土) 9:30~16:20 (受付 9:15~9:30)
- **会場** 総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所 1階 介護実習室(神戸市西区曙町1070)
- **定員** 30名 (先着順)  
[対象者] 福祉用具に関心を持ち、リフトを積極的に使用したい施設・事業所職員 その他、主催機関が認めるもの等

## ○ 研修内容[プログラム] (予定)

	時間	内容	講師
10/2 (金)	9:00~9:10	あいさつ・オリエンテーション	研修センター
	9:10~10:40	リフトリーダーと助成金制度 ・リフトリーダーとしての役割と心構え ・各種講習と考え方 ・助成金制度の概要とポイント ・腰痛予防対策チェックリストの活用	上田 喜敏 氏 安全なケア研究所 PT 博士(工学)
	10:50~13:10 (昼休憩 50分を含む)	腰痛の原因と対策 ・介護者の腰痛発生状況とその原因 ・腰痛予防に関連する法令、指針など ・腰痛予防対策 ・労働衛生管理のすすめ方 ・機器導入効果の検証方法	
	13:10~16:20	介護作業とリフト ・吊具の種類と特徴 ・リフトの種類と特徴 ・介護作業のアセスメント ・次回実技の概要説明	
16:20~17:00	リフトインストラクター筆記試験(※受験希望者のみ)	(リフトインストラクター試験は JASPA 介護リフト普及協会)	
10/3 (土)	9:30~16:20 (昼休憩 50分を含む)	移乗関連用具指導法 ・リフト等の使い方 ・リフトなどの指導 ・機種別(選択)の実技 ・個別相談	
	16:30~18:30	リフトインストラクター実技試験(※受験希望者のみ)	

- **受講料** 16,000円(テキスト代を含む)  
(受講決定者に振込先を連絡します。なお、支払い方法は、振込のみとなります。)
- **申込締め切り日** 令和8年8月28日(金) 12:00(正午)まで ※定員になり次第、締め切ります。

○ **申込方法**

福祉のまちづくり研究所（研修部門）ホームページの『ノーリフティングケア研修』から当該研修を選択し、申込フォームからお申し込みください。

ホームページ（研修部門） <https://assistech.hwc.or.jp/category-kensyu/>

※申し込みに記載されている個人情報は、名簿の作成等、研修事業以外の目的には使用しません。

○ **受講可否通知方法**

申し込み締め切り後、郵送にて通知。申し込み締め切り後2週間以内に連絡がない場合は、お問い合わせください。

受講決定後は、受講者の変更はできません。

○ **研修修了書**

全カリキュラムを受講した者を研修修了者とし、公益財団法人テクノエイド協会理事長名によるリフトリーダー養成研修修了書を交付します。

○ **その他**

研修終了後、希望者には JASPA 介護リフト普及協会にてリフトインストラクター認定試験を開催します。試験は筆記と実技で合格者には認定証を交付いたします。

○ **個人情報の取り扱いについて**

- ・本研修申込み者に関する個人情報は、研修運営に係る作業（名簿の作成、資料送付、修了書の交付等）及び統計資料の作成のために使用します。
- ・これらの個人情報は、上記以外の目的での使用、本人の了承なく第三者に提供することはいたしません。

**問合せ先**

福祉のまちづくり研究所 研修センター ノーリフティングケア研修担当：松井 質問・お問合せ（研修部門）> <a href="https://assistech.hwc.or.jp/contact-page/contact_kensyu/">https://assistech.hwc.or.jp/contact-page/contact_kensyu/</a> ※ご質問・お問合せは、当方ホームページ『研修部門のお問合せ』からお願いします。
---